

生物群	急性	慢性	毒性値 [μg/L] <sup>*1</sup>	報告値 [μg/L] <sup>*2</sup>	生物名	生物分類	エンドポイント ／影響内容	ばく露 期間 [日]	試験の信 頼性/ Reliability <sup>*3</sup>	採用の 可能性 <sup>*4</sup>	文献 No. <sup>*5</sup>	被験 物質
	○		20,400	22,000	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	ニジマス	LC <sub>50</sub> MOR	4	1	-	5)-42	カリウム塩
	○		119,000	562,000 (197,000)	<i>Pimephales promelas</i>	ファットヘッドミノ	LL <sub>50</sub>	4 (止水式)	2	-	5)-28	ジデシルジメチルアンモニウム塩
その他	○		<2.3	<2.3	<i>Chironomus tentans</i>	ユスリカ属	NOEC EMRG	最長 63	A	A	4)-2007069	カリウム塩
	○		21.7	21.7	<i>Chironomus tentans</i>	ユスリカ属	NOEC GRO	20	A	B	4)-2007069	カリウム塩
	○		87.2	87.2	<i>Chironomus tentans</i>	ユスリカ属	EC <sub>50</sub> GRO	10	A	B	4)-2007069	カリウム塩
	○		300	300	<i>Rana pipiens</i>	アカガエル科	NOEC	112	B	B	4)-2007070	カリウム塩
	○		>2,780	>3,000	<i>Crassostrea virginica</i>	バージニアガキ	EC <sub>50</sub> GRO	4	1	-	5)-4 (海水)	カリウム塩
	○		6,600	6,600	<i>Lemma gibba</i>	イボウキクサ	NOEC GRO(Biomass)	7	B	A	4)-2007068	カリウム塩
	○		11,200	12,100	<i>Xenopus laevis</i>	アフリカツメガエル(胚)	EC <sub>50</sub> MALF	4	2	-	5)-40	カリウム塩
	○		12,800	13,800	<i>Xenopus laevis</i>	アフリカツメガエル(胚)	LC <sub>50</sub> MOR	4	2	-	5)-40	カリウム塩
	○		31,100	31,100	<i>Lemma gibba</i>	イボウキクサ	EC <sub>50</sub> GRO(Biomass)	7	B	A	4)-2007068	カリウム塩
	○		54,700	59,000	<i>Unio complamatus</i>	イシガイ属	LC <sub>50</sub> MOR	4	1	-	5)-5	カリウム塩
	○		100,000	108,000	<i>Lemma gibba</i>	イボウキクサ	IC <sub>50</sub> GRO (葉状体数)	7	1	-	5)-37	カリウム塩

**毒性値** (太字) : PNEC 導出の際に参照した知見として本文で言及したもの

**毒性値** (太字下線) : PNEC 導出の根拠として採用されたもの

試験の信頼性: 本初期評価における信頼性ランク

A : 試験は信頼できる、B : 試験は条件付きで信頼できる、C : 試験の信頼性は低い、D : 信頼性の判定不可  
E : 信頼性は低くないと考えられるが、原著にあたって確認したものではない

採用の可能性: PNEC 導出への採用の可能性ランク

A : 毒性値は採用できる、B : 毒性値は条件付きで採用できる、C : 毒性値は採用できない

エンドポイント

EC<sub>10</sub> (10% Effective Concentration) : 10% 影響濃度、EC<sub>50</sub> (Median Effective Concentration) : 半数影響濃度、  
EL<sub>50</sub> (Median Effective Loading rate) : 半数影響負荷率、IC<sub>50</sub> (Median Inhibition Concentration) : 半数阻害濃度、  
LC<sub>50</sub> (Median Lethal Concentration) : 半数致死濃度、LL<sub>50</sub> (Median Lethal Loading rate) : 半数致死負荷率、  
NOEC (No Observed Effect Concentration) : 無影響濃度

影響内容

EMRG (Adult Emergence) : 羽化、GRO (Growth) : 生長 (植物)、成長 (動物)、IMM (Immobilization) : 遊泳阻害、  
MALF (Malformation) : 奇形、MOR (Mortality) : 死亡、REP (Reproduction) : 繁殖、再生産、

( ) 内 : 毒性値の算出方法

AUG (Area Under Growth Curve) : 生長曲線下の面積により求める方法 (面積法)

RATE : 生長速度より求める方法 (速度法)

\*1 ペルフルオロオクタンスルホン酸当たりの値

\*2 カッコ内の数字は、純度補正值

\*3 数値は PFOS 及びその塩類の有害性評価 (OECD, 2002) Robust summary に記載されている Klimisch ranking を示す

\*4 「-」は当分科会において採用の可能性を判断していない

\*5 文献 No. の「5)-」のあとに続く数字は、PFOS 及びその塩類の有害性評価 (OECD, 2002) Robust summary の Study reference number

\*6 限度試験 (毒性値を求めるのではなく、定められた濃度において毒性の有無を調べる試験)

\*7 限度試験より得られた 2,970μg/L ではなく、確定値である 5,300μg/L を PNEC 導出の根拠とした

\*8 限度試験より得られた 2,970μg/L 超ではなく、確定値である 48,200μg/L を PNEC 導出の根拠とした

\*9 試験媒体は WAF (水適応性画分)。PFOS 及びその塩類の有害性評価 (OECD, 2002) において評価に用いないとされた毒性値のため PNEC 導出の根拠として用いない